

「外国為替市場における売買」

外国為替市場でドル紙幣を一つの財とみなすと、ドル買い（円売り）は円紙幣を市場に供給するので政策当局としては緩和策であることがわかる。なぜなら、円のマネーサプライを市場に供給して、円安・インフレを導くからである。逆に、ドル売り（円買い）は円高・デフレを導く引き締め策である。これは、マネーサプライを供給するか引き揚げるかの違いだからである。円は円で買えないのである。また、ユーロ円もポンド円も同様の理屈で説明できる。以前にも書いたことがあるが、「買い」はどの経済主体でも効果としては緩和策で、「売り」は引き締め策である。

平成 30 年 8 月 18 日(土)
佐藤 賢一